

本紙はクイックマニュアルです。ライブや再生等の操作と、異常発生時の動作について記載しています。詳細は取扱説明書をご覧ください。

■ ライブ画面

● ライブ画面のはたらき

カメラのライブ映像を監視します。リモートビューアー画面切換タブのライブをクリックするとライブ画面が表示されます。

コントロールボタン

シーケンス、表示設定、フルスクリーン、ミュート、音声送信、直近再生、一括再生を操作します。



リモートビューアー画面切換タブ

ライブ、マップ、再生、イベント、ヘルスチェック、システムログの操作を行う画面に切り換えます。



パターンリスト

分割画面を設定したパターンのリストを表示します。

カメラ制御パネル

コンピネーションカメラの PTZ 制御やカメラの接点出力制御を操作します。



ビュー

選択しているビューは青枠で表示されます。詳細は次項目を参照してください。

- ログイン/ログアウト
- マネージャー
- オプション
- ロック/ロック解除
- 終了

カメラ映像表示領域
選択したパターン
のカメラ映像を表示します。

表示切換ボタン

表示の切り換えを操作します。シーケンスやロックを操作することもできます。カメラ映像表示領域の下端にマウスポインターを移動すると表示されます。



● ビュー

ライブ画面のカメラ映像表示領域に表示されている各カメラ映像を「ビュー」と呼びます。ビュー上部の情報バーには、接続中のカメラ名称とカメラの状態が表示されます。

カメラ名称 情報バー 接続カメラの状態



- : 音声受信できる状態
- : 音声送信できる状態
- : PTZ 制御できる状態

[接続カメラの状態]



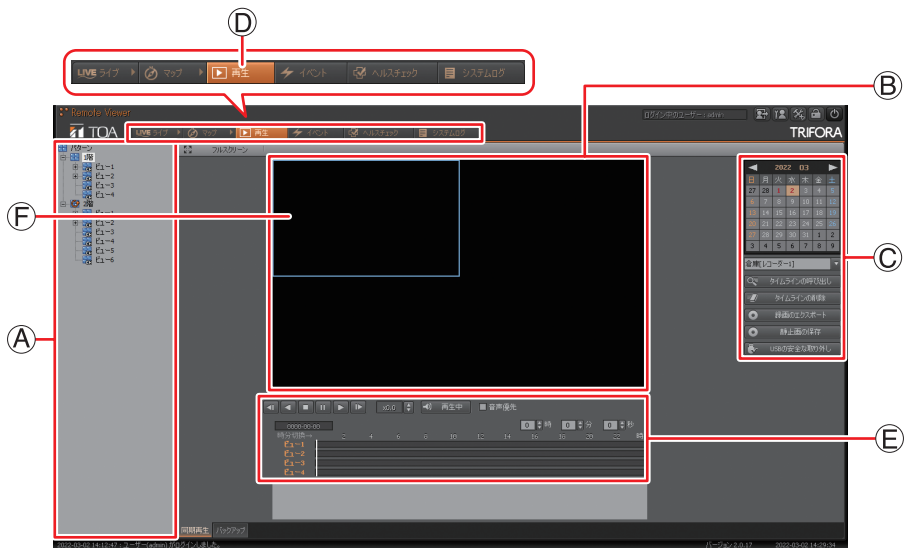
- ① 接続表示灯 : カメラ接続中 (青色)
- ② カメライベント表示灯 : カメライベント入力待機中 (青色)、カメライベント入力中 (赤色)
- ③ 録画表示灯 : 録画待機中 (青色)、録画中 (赤色)、録画設定なし (灰色)

■ 再生画面（同期再生）

● 再生画面のはたらき

ネットワークレコーダーの録画ファイルの再生を行います。

リモートビューアー画面切替タブの再生タブ ① をクリックすると同期再生画面が表示されます。



● 同期再生を行う

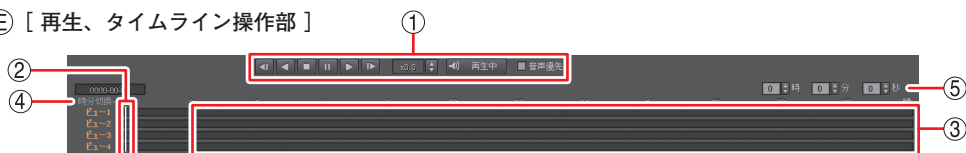
カメラごとのタイムラインを呼び出して再生します。最大4つのカメラのタイムラインを同時に再生することができます。

© [各種操作部]

- 1 パターンリスト ③ から同期再生したいカメラが登録されているパターンをクリックする。
- 2 「カメラ選択 ①」のプルダウンメニューからカメラを選択する。
- 3 録画検索カレンダー ④ から同期再生したい日をクリックする。
録画映像が保存されている日は「赤太字」で表示されます。
- 4 「タイムラインの呼び出し ⑤」をクリックする。
タイムライン ③ に選択したカメラのタイムラインが表示されます。
- 5 手順 1、2、4 を繰り返し、同期再生したいカメラのタイムラインを呼び出す。
- 6 再生操作部 ① の  をクリックする。
再生表示領域 ② で同期再生を開始します。



⑤ [再生、タイムライン操作部]



① 再生操作部

再生の方向や速度、音声のミュートを指定します。

② タイムスライダー

再生位置を示します。

③ タイムライン

再生範囲を表します。

④ 時分切換

タイムラインの表示スケールを1時間表示または24時間表示に切り換えます。

⑤ 時刻表示部

タイムスライダーが示す時刻を表示します。

■ 録画ファイルのエクスポート（外部取り出し）

● 録画ファイルをエクスポート（外部取り出し）する

ネットワークレコーダーの録画データから、1台のカメラの録画映像をリムーバブルメディアを使用して外部に取り出すことができます。

リムーバブルメディア：FAT32 または NTFS でフォーマットされた USB メモリー、USB 外付ハードディスク

1 リムーバブルメディアを PC のシリアルポートに接続する。

2 映像を再生する。

再生のしかたは「同期再生を行う」を参照してください。

3 エクスポートしたい映像のビュー ⑥ をクリックする。

ビューが青枠で表示されます。

4 「録画のエクスポート」⑩をクリックし、保存先⑨、エクスポートしたい時刻⑪、ファイル形式⑫を指定する。

ファイル形式は「独自形式 (nr5)」または「MP4 形式」から選択できます。



5 「OK ⑬」をクリックする。

録画ファイルのエクスポートを開始します。「リムーバブルメディアを抜かないで下さい」と画面が表示され、エクスポートが完了すると画面が消えます。

6 「USB の安全な取り外し ⑭」をクリックしてからリムーバブルメディアを取り外す。

● エクスポート（外部取り出し）した録画ファイルを再生する

リモートビューアーでエクスポートした録画ファイルを PC で再生することができます。

以下は、「独自形式 (nr5)」でエクスポートした録画ファイルの再生手順です。

「MP4 形式」でエクスポートした録画ファイルは、汎用の再生ソフトウェアで再生することができます。

1 録画のエクスポートを行ったリムーバブルメディアを PC に接続する。

2 リムーバブルメディアの最上層にある実行ファイル「1ChPlayer_ver3.exe」をダブルクリックする。

再生ソフト 1ch プレイヤーが起動します。

[1 ch プレイヤー画面]



3 1ch プレイヤー画面で再生操作部[Ⓚ]の「ファイルを開く ①」をクリックする。
録画ファイル選択画面が表示されます。

4 再生する録画ファイルをクリックする。

5 「開く」をクリックする。
再生を開始します。再生操作部[Ⓚ]で各種再生操作ができます。



- ① ファイルを開く
録画ファイル選択画面が表示されます。

② 時刻表示 ON/OFF
時刻と再生速度の表示を切り換えます。
- ③ 静止画の保存
再生中の1場面を静止画（JPEG）として保存します。

■ こんなことが起こったら…

● リモートビューアー画面にメッセージが表示されている

メッセージ内容	説明と対応
[レコーダー名称] ファン ^X 異常 ※ 下線部はファンの番号	ネットワークレコーダーの冷却用ファンが停止しました。速やかにファンに異常が発生したレコーダーを終了して電源を切ってください。*
[レコーダー名称] ハードディスク残量が不足しています。(90%使用済み)／[レコーダー名称] ハードディスク残量が不足しています。(95%使用済み)／[レコーダー名称] 録画停止(HDDフル)	ネットワークレコーダーの録画容量使用率が100%になると録画を停止します。録画を再開するには上書きを許可するか録画を削除(全削除)してください。
[レコーダー名称] ハードディスクに書き込み異常が発生しました。	ネットワークレコーダーのハードディスクへの書き込みエラーが発生しました。*
[レコーダー名称] ハードディスクに異常が発生しました。(HDD ^X) ※下線部はハードディスクの番号	ネットワークレコーダーでハードディスクとの接続エラーが発生しました。*

* ネットワークレコーダーの管理者にご確認ください。

● ブザーが鳴動している

ブザーの鳴動と同時にリモートビューアー画面にメッセージが表示されることがあります。
上記のメッセージが表示された場合は、リモートビューアー画面の「OK」をクリックしてください。ブザーの鳴動が停止します。

TOA お客様相談センター	フリーダイヤル（固定電話専用） 0120-108-117 ナビダイヤル 0570-064-475(有料) FAX 0570-017-108(有料) ※ PHS、IP 電話からはつながりません。	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。
当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。		

TOA ホームページ <https://www.toa.co.jp/>

TOA 株式会社



133-02-00439-02